

よえもん

論語から学ぼう

(記念館の玄関前に掲示しています)



《 第51号 》 (2017年度)

(記念館行事)
了佐てらこや小学校

シリーズ
よえもん

今年度も夏休みの8月3日から10日まで5日間、中江藤樹記念館で「了佐てらこや小学校」



を開校しました。てらこやの了佐という名は藤樹先生の門人で人一倍努力して医者になった「大野了佐」にちなんだものです。

市内の小学校3年生から6年生まで、38人の参加があり、『論語』の素読や習字、物作りや科学体験などに熱心に取り組みました。保護者の皆様をはじめ佛教大学書道講師の西川守彦先生、関係者の皆様のご協力に心より感謝を申し上げます。

「論語」述而第七

書 渕田瑞穂さん

三人行けば
必ず
我が師あり



論語の素読



習字



科学体験



グループごとに作品仕上げ

「3人で行動をすると、他の2人の行動から必ず自分の手本となる人がいるものである」という意味です。

孔子はさらに、「数人で何か行動すれば、必ず良い見本となる人と、手本にしてはいけない悪い見本となる人がいて、どちらも自分にとっての師とすることができる」と説明しています。

人の優れた所を素直に真似できる柔軟性ととも、人の良くない所を自らの反省とする謙虚さが大切であると考えます。

* 記念館だより *

「了佐てらこや小学校」の学習の成果をたたえる機会として、子どもたちの論語毛筆作品を当記念館の講義室にて、8月19日から30日まで展示しています。なお、開館時間内(9時~16時30分)(月曜日は休館日)は、いつでもご覧いただけますが、団体予約等で講義室使用時には少しお待ちいただく場合があります。頑張って仕上げた子どもたちの作品を多くの人にご覧いただければ幸いです。



近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

